令和８年度　こどもみらい科　3年

教　育　課　程　表

授　業　計　画

学校法人　実教学園

FUC フチガミ医療福祉専門学校

令和8年度

科目名	担当	時間数	ｺﾏ数	単位数
Ⓕ･Ⓢ英会話Ⅰ	松添	36	18	2
Ⓕ/子ども家庭支援論	池田	30	15	2
Ⓕ･Ⓢ保育･教職実践演習	宮園	36	18	2
保育実習Ⅰ(施設)	寺西(加)	80		2
Ⓕ/乳児保育Ⅰ	中ノ瀬	30	15	2
Ⓢ乳児保育Ⅱ	中ノ瀬	20	10	1
Ⓢ子どもの健康と安全	青木	20	10	1
Ⓢ保育実習事前事後指導Ⅱ　※選択必修	宮園	[10]	5	[1]
保育実習Ⅱ(保育所)　　※選択必修	宮園	[80]		[2]
Ⓢ保育実習事前事後指導Ⅲ　※選択必修	寺西(加)	[10]	5	[1]
保育実習Ⅲ(施設)　　※選択必修	寺西(加)	[80]		[2]
Ⓕ/保育の心理学	阪本	30	15	2
Ⓕ/ピアノ演習Ⅲ	有馬	15	7	1
Ⓕ/キャリア形成Ⅲ	山下	60	30	4
Ⓕ/日本国憲法	木村	30	15	2
Ⓕ/就職指導	山下	30	15	1
Ⓕ/実習指導②	寺西(加) 宮園	20	10	1
保育インターンシップ実習	山下	80	2週間	2
センスアップ講座	篠田	4		
必修科目　計		521		25
選択必修科目　計		90		6
合　　計		611		31

科目名	英会話Ⅰ	担当者	松添　宏彦	クラス	期別
				3NT	前期

1．教育目標

英語に親しみ、楽しむが基本で、ある程度の「聞く」と「話す（発表・やりとり）」ができるようにします。英語に慣れ、コミュニケーション能力の素地を養うことが目標です。

2．授業内容

テキストを中心に進めていきますが。その中で、日常会話でよく使うフレーズの反復練習や、ロールプレイを行います。これまで英語が苦手だった人も英語を楽しむことを大切にします。

3．授業計画（授業　8コマ＋　近代Ⓢ（スクーリング）10コマ　計18コマ）

1	テキストにあるUnitに沿って授業を進めていきます。大切なことは自分自身が英語を楽しむことです。英語を通じて自分を表現する方法を磨いていきます。
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	Ⓢ（スクーリング）
１０	Ⓢ（スクーリング）
１１	Ⓢ（スクーリング）
１２	Ⓢ（スクーリング）
１３	Ⓢ（スクーリング）
１４	Ⓢ（スクーリング）
１５	Ⓢ（スクーリング）
１６	Ⓢ（スクーリング）
１７	Ⓢ（スクーリング）
１８	Ⓢ（スクーリング）

4．評価方法

・筆記し試験、授業を受ける姿勢。70%
・出席状況　30%

5．テキスト及び参考書

Happy English for Childcare（保育のための基礎英語）

6．実務経験の有無　：　あり

・ECC外語学院英語講師
・国際学会等での通訳、翻訳。

7．その他

英語を学ぶことは新しい自分探しです。
とにかく前向きな気持ちで英語を楽しんでください。

科目名	子ども家庭支援論	担当者	池田　淳一	クラス	期別
				3ＮＴ	通年

１．教育目標

子どもが最初に所属する集団であり、社会でもあるのが家庭です。現代の家庭を取り巻く社会環境はさまざまな問題を抱えています。そのため、保育所の持つ「家庭支援」「子育て支援」が重要な社会的役割を持ちます。乳幼児、親を含めた家族全体が、保育士の関わる保育の対象であることを理解する必要があります。これらの支援は 保育所に通所する子どもの保護者だけでなく、在宅の親やその子どもについてもまた、必要とされています。

本授業ではそれぞれの家庭のニーズに応じた家庭福祉を図るためのさまざまな援助活動や関係機関との連携を理解するために、その基礎知識と援助の方法を身につけていきます。

２．授業内容

授業計画は下記のとおりです。原則として授業の内容は、①前回の復習②講義③課題（または演習）④まとめ、という流れで行います。理解を進めていくために、さまざまツールを使いながら、授業を展開していきます。

３．授業計画

1	オリエンテーション、第１章・第２章（P1～8）
2	第３章・第４章（P9～P30）
3	第５章・第６章（P41～63）
4	第７章・第８章（P64～84）
5	第９章・第10章（P85～104）
6	第11章・第12章（P105～127）
7	第13章・第14章（P128～146）
8	中間テスト
9	リフレーミングについて（伝え方の基礎）（別紙プリント）
10	保護者対応のコツ１（別紙プリント）
11	保護者対応のコツ２（別紙プリント）
12	保護者対応のコツ３（別紙プリント）
13	保護者対応のコツ４（別紙プリント）
14	保護者対応のコツ５（別紙プリント）
15	学期末試験

４．評価方法

筆記試験　70点

平常点（出席・授業態度・授業成果物）　30点

５．テキスト及び参考書

渡邊暁・橋本翼編「実践で役立つ子ども家庭支援論」ミネルヴァ書房,2024

６．実務経験の有無　□　あり　（　経歴　：　）

7．その他

科目名	保育・教職実践演習	担当者	宮園　美智子	クラス	期別
				3NT	通年

１．教育目標

・自らの学びを振り返り保育士、幼稚園教諭として必要な知識や技能の確認及び習得を目指す
・保育士、幼稚園教諭としての必要なコミュニケーション能力を習得する
・保育士、幼稚園教諭としての使命感と職務内容について理解する

２．授業内容

・これまでの学習と実習の成果を確認し振り返りながらさらに実際に保育士、幼稚園教諭として現場で必要な資質と知識、能力を養う。その為に発表や議論、ロールプレイや模擬保育などを組み合わせて行う

３．授業計画

1	保育者としての自己分析・自己理解
2	保育現場の実情
3	保育現場の課題
4	安全・リスクマネジメントについて
5	子どもの心身の発達及び状況について
6	発達障害とは
7	保育･教育職の意義と職務内容について
8	保育の行政制度についての理解
9	幼児に対する指導方法について
10	保護者との信頼関係の構築
11	行事への理解
12	保育技術(絵本･紙芝居)
13	保育技術(遊戯振り付け･手遊び)
14	保育技術(遊戯振り付け･手遊び)
15	指導案作成
16	模擬保育
17	模擬保育
18	模擬保育(まとめ)

４．評価方法

・平常点（出席・授業態度など）40%
・模擬保育への参加まとめ　　30%
・課題・レポート提出　　30%

５．テキスト及び参考書

・保育・教職実践演習及び必要に応じて資料を配布

６．実務経験の有無

■　あり　（　経歴：認可保育所勤務29年・小規模保育所施設管理者８年）

７．その他

科目名	乳児保育Ⅰ	担当者	中ノ瀬 信子	クラス	期別
				3NT	通年

１．教育目標

・乳児保育（0・1・2歳児保育）の意義や目的、歴史的な移り変わり及び社会背景から、その役割や機能を理解する。
・乳児保育の現状と課題について理解する。
・0・1・2歳児の発育・発達を踏まえた保育の内容や保育者の関わりについて学ぶ。
・乳児保育における、職員間、保護者、地域の関係機関との連携・稼働について考える。

２．授業内容

・テキスト「はじめて学ぶ乳児保育」に沿って取り組む。
・実践的な活動を設け、その事について調べたり、実際の様子と照らし合わせながらテキストの内容理解を更に深めていき、個々の生徒の興味を引き出し、将来への参考となるよう知識と技術を確実に習得していく。

３．授業計画

1	乳児保育の社会的背景・歴史と現状
2	児童福祉法とは？
3	「保育所保育指針」とは？
4	「保育所保育指針」における乳児保育のポイント
5	人生の基礎としての乳児保育
6	乳児のこころの発達
7	乳児のことばの発達
8	乳児のからだ
9	保育所のデイリープログラム
１０	保護者との協力関係
１１	実　践
１２	乳児の食について
１３	保育環境、安全管理について
１４	トラブルの背景と保護者との連携について　まとめ
１５	試　験

４．評価方法

○　試　験　　：　７０点
○　出席・授業態度　　：　３０点

５．テキスト及び参考書

○　「はじめて学ぶ乳児保育」

６．実務経験の有無

□　あり　（　経歴　：　　幼稚園教諭２年・保育士４０年（主任１０年・園長１２年））

７．その他

科目名	Ⓢ　乳児保育Ⅱ	担当者	中ノ瀬 信子	クラス	期別
				3NT	通年

１．教育目標

・乳児保育（0・1・2歳児保育）の意義や目的、歴史的な移り変わり及び社会背景から、その役割や機能を理解する。
・乳児保育の現状と課題について理解する。
・0・1・2歳児の発育・発達を踏まえた保育の内容や保育者の関わりについて学ぶ。
・乳児保育における、職員間、保護者、地域の関係機関との連携・稼働について考える。

２．授業内容

・テキスト「はじめて学ぶ乳児保育」に沿って、乳児保育Ⅰの後を取り組む。
・実践的な活動を設け、その事について調べたり、実際の様子と照らし合わせながらテキストの内容理解を更に深めていき、個々の生徒の興味を引き出し、将来への参考となるよう知識と技術を確実に習得していく。
・実践を行い、気づきや疑問を分かち合い、理解を深める。

３．授業計画

1	保育士としての自分を顧みる
2	不適切保育とは
3	乳児の事故
4	衛生と安全管理
5	実習を行うにあたって各自の目標・その取り組みの為の準備
6	校外学習（園実習「小郡こひつじ園」にて実習）
7	実習
8	実習
9	実習
１０	実習を終えて、目標への振り返り、今後の展望

４．評価方法

○　実　習　：　５０点
○　試　験　：　２０点
○　出席・授業態度　　：　３０点

５．テキスト及び参考書

○　「はじめて学ぶ乳児保育」

６．実務経験の有無

□　あり　（　経歴　：　　幼稚園教諭２年・保育士４０年（主任１０年・園長１２年））

７．その他

科目名	子どもの健康と安全	担当者	青木　福美	クラス	期別
				こどもみらい科 3NT	

1．教育目標

保育者として、乳幼児の健康状態の把握、および観察力を習得する
異常症状の把握の仕方、観察ポイント、応急処置を習得する
事故防止と安全教育について理解させる
保育士としての専門職への意識を高める

2．授業内容

応急処置・創傷部の処置
打撲、捻挫、脱臼、骨折時の処置
新聞紙、ハンカチ、風呂敷、テープ等を使い、代用品の工夫をする
乳幼児の健康観察、異常の早期発見と応急処置
沐浴・おむつの当て方
保健指導について：保健たより作成

3．授業計画

1	健康観察　バイタルサインの測り方
2	乳幼児の扱い方　抱き方・おむつの当て方　・沐浴実習
3	正しい手洗い法・咳嗽・歯磨き法
4	消毒について　吐物の処理
5	症状別看護・応急処置　：罨法・包帯法・三角巾の使い方
6	救急法
7	保健便り作成①
8	保健便り作成②
9	レポート作成
10	セルフケア・まとめ

4．評価方法

出席

5．テキスト及び参考書

プリント作成

6．実務経験の有無

■ あり　（ 経歴　：　小児科病棟看護師・保健師　　）

7．その他

科目名	保育実習事前事後指導Ⅱ	担当者	宮園　美智子	クラス	期別
				3ＮＴ	通年

１．教育目標

・保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えをつくる
・指導案の作成や実習日誌の書き方などに関わる知識と技術を身に付ける
・実習の総括と自己評価を行い、保育士としての自己の課題を明確にする

２．授業内容

・前回の保育実習での自己評価と課題・今後の実習目標について再度認識する
・具体的な内容を通して、より実践的な内容を学習する

３．授業計画

1	保育実習の振り返り（前回の実習日誌持参）
2	保育所実習の意義・目的・内容について（1日の流れとデイリープログラム）
3	実習日誌・指導案の書き方　/　保育実習シュミレーション準備
4	保育実習シュミレーション
5	自己評価・自己課題の明確化

４．評価方法

５．テキスト及び参考書

・「保育所保育指針」　厚生労働省
・「幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド」

６．実務経験の有無

■　あり　（　経歴：認可保育所勤務29年・小規模保育所　施設管理者７年　）

７．その他

科目名	保育実習事前事後指導（施設）	担当者	寺西加代美	クラス	期別
				3NT	通年

1，教育目標

児童福祉施設における保育士としての役割を理解し、児童福祉施設に対する先入観を取り除き、施設実習に取り組めるようにする。

児童福祉施設における社会的な役割を理解し、知識を深める。
実習日誌の書き方について、知識や技術を身につける。

2，授業内容

児童福祉施設における社会的役割を理解し、児童福祉施設の歴史、種類、
入所児童などについて事前学習を行う。
実習に行く施設の種別グループに分かれ、調べ学習を行い、発表する事で情報共有する。

3，授業計画

1	実習に関する基礎的理解と諸注意 実習の目的と概要、実習の意義等を確認
2	施設における保育内容と養護、施設の役割と機能について
3	グループ別調べ学習
4	グループ別調べ学習
5	調べ学習発表内容のまとめとグループ討議

4，評価方法

① 授業への積極的参加(20%)
② レポート(30%)
③ 調べ学習発表（50%）

5，テキスト及び参考書

「幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド」　林幸範・石橋裕子著（同文書
「保育所保育指針解説書」　厚生労働省
「幼稚園教育要領解説」　文部科学省

6，実務経験の有無

☑ あり　（児童養護施設）

科目名	Ⓕ保育の心理学	担当者	阪本 英二	クラス	期別
				3NT	通年

１．教育目標

乳幼児の発達について理解しておくべき心理学理論や心理的支援を，主体的に学ぶことが目標である。文献を通して理論を学習し，具体的に経験される出来事を理論を交えた視点から捉えられるようにする。それにより，保育の現場での子どもの日常的な行動をより深く洞察し，よりよい実践を可能にすることが高次の目標である。

２．授業内容

2冊の文献を用いた「ゼミナール形式」での演習を行う。発表担当者は，該当部分の要約とそれに関連する参考文献や情報を交えた補足的な学習成果をレジュメ（A3，1枚程度）にまとめ，それを通して自らの考えの発表や問題提起を行う。その他の参加者は質問や意見を述べ，全体でディスカッションする。

３．授業計画

1	イントロダクション：ゼミナール（ゼミ）の進め方と担当決め
2	テキストA–①：第2章　子どもの発達と環境
3	テキストA–②：第3章　発達理論と子ども観・保育観
4	テキストA–③：第5章　発達を支えるアタッチメント
5	テキストA–④：第6章　自己と感情・情動の発達
6	テキストA–⑤：第7章　社会性の発達
7	テキストA–⑥：第8章　認知の発達
8	テキストA–⑦：第9章　言語の発達
9	テキストA–⑧：第10章　発達障害と発達
１０	テキストA–⑨：第12章　保育に生かす学習理論
１１	テキストA–⑩：第13章　遊びの発達
１２	テキストB–①：第1章　新しい世界へ――移行
１３	テキストB–②：第2章　人や物とかかわる――関係（※2名発表）
１４	テキストB–③：第3章　自分に気づく――自己
１５	テキストB–④：第4章　感じてあらわす――情緒

４．評価方法

発表に基づいたレポート　　70%
授業への参加度・出席　　30%

５．テキスト及び参考書

テキストA：『実践に活かす保育の心理学』
2023　原口喜充（編著）　ミネルヴァ書房
B：『エピソードで学ぶ乳幼児の発達心理学：関係の中でそだつ子どもたち』
2004　岡本依子・菅野幸恵・塚田‐城みちる　新曜社

６．実務経験の有無

□　あり　（　経歴　：　　）

７．その他

テキストBは閲覧用を用意するので，コピーしてよい。パソコン等を用いて発表してもよい。

科目名	ピアノ演習Ⅲ	担当者	有馬　あゆみ	クラス	期別
				3NT	通年

１．教育目標

幼児教育に携わる保育者の音楽技術の習得、
及び資質の向上を目指して学習する

２．授業内容

一人ひとりのレベルに合わせたピアノレッスン
童謡の弾き歌いを目標に、ピアノ演奏法を基礎から身につける

３．授業計画

１～７	実習及び保育現場で必須の童謡を 中心とし、個々に研鑽を積む

４．評価方法

・レッスンの受講姿勢
・毎回課題曲を１人ずつ演奏する
・試験当日課題を１人ずつ演奏する

５．テキスト及び参考書

・近畿大学テキスト（音楽ピアノ教本）
・その他
自身に合った子どもの歌やピアノ教本、またお気に入りの曲を選び
演奏してみることをお勧めします。

科目名	キャリア形成Ⅲ	担当者	山下　和子	クラス	期別
				３ＮＴ	通年

１．教育目標

○　働くことの意義や目的を理解し、今後のキャリアを考えることができるようになる。
○　自己実現に向け、保育者に必要な資質能力を認識し、それらを獲得していく行動を自律的に行うことができる。

２．授業計画

	内　　容
1	オリエンテーション　進路選択に向けた目標設定
2～3	センスアップ講座
4～10	現場実践①（保育園）　※絵本読み聞かせ会
11	子どもの居場所づくり支援について考える
12～13	現場実践②（校外学習）　※子ども食堂
14～17	現場実践③（保育園）　※絵本読み聞かせ会
18～19	現場実践④（校外学習）　※あいくる
20～28	現場実践⑤（保育園）　※お誕生会
29～30	保育者のマナー（園でここちよく働くために）

３．評価方法

提出物（50%）　出席状況、授業の取り組み状況および態度と意欲（50%）

４．実務経験の有無

☑ あり　（　資格・職種　：　キャリアコンサルタント、キャリアサポーター　）

科目名	日本国憲法	担当者	木村　保博	クラス	期別
				３ＮＴ	通年

１．教育目標

保育士としてのみならず、日本国民として日本国憲法の知識や内容を理解できるようにする。

２．授業内容

講義と確認テストにより進める。

３．授業計画

１	民主政治の成立
２	人権保障の歴史
３	憲法の種類、大日本帝国憲法との比較
４	日本国憲法の三大原則
５	人権体系(社会権)
６	人権体系(自由権)
７	人権体系(参政権、請求権、平等権、新しい人権)
８	中間テスト
９	中間テストの解答と解説、統治体系(国会)
１０	統治体系(国会)
１１	統治体系(内閣)
１２	統治体系(裁判所)
１３	地方自治
１４	選挙制度
１５	政党と圧力団体

４．評価方法

出席点(３０点)及び中間テスト(３５点)、前期定期テスト(３５点)による。

５．テキスト及び参考書

６．実務経験の有無

□ あり　（ 経歴　：　　）

７．その他

科目名	就職指導	担当者	山下　和子	クラス	期別
				３ＮＴ	通年

１．教育目標

○将来について真剣に考える機会とする。
○自身に合った就職活動を行えるよう、自己の価値観や強みを明確にする。
○自分の進路を決定する。

２．　授業内容

就職を希望する種別研究を行うとともに、就職フェア等へ参加し情報を収集する。履歴書を作成する中で、自己分析を行い、自己ＰＲを作成し、志望動機を明確にしていく。

３．授業計画

1	ガイダンス　「就職」とは何か。仕事、社会人について考える
2～3	自己理解を深める（ＹＧ性格検査・内田クレペリン検査・自分の強み）
4	就職活動時のマナー（電話・手紙など）
5～6	保育園就職フェア①
7	自己ＰＲ、志望動機について
8	自主実習に向けて
9～10	保育園就職フェア②
11～12	履歴書作成
13	面接試験対策
14	給与の仕組みと税金、社会保険、労働法について
15	今後のビジョン

４．評価方法　　授業への積極的参加（40%）　　レポート、課題（60%）

５．テキスト及び参考書　　授業中、資料を配布する

６．実務経験の有無

☑ あり　（ 資格　：　小学校教諭一種、保育士 ）
（ 実務　：　小学校教員 ）

科目名	実習指導② （保育所）	担当者	宮園　美智子	クラス	期別
				3ＮＴ	通年

１．教育目標

・保育実習Ⅰ（保育所）を通して学んだ技術と理論を基盤として保育士として必要な資質・能力・技術を向上させる。
・家庭と地域の生活実態に触れ子育てを支援するために必要とされる能力、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養い福祉の視点を持った保育士養成を目的とする

２．授業内容

・保育実習②では前回の保育実習を活かし、子どもの年齢や発達に応じた保育展開、状況に応じた保育の実践、さらに子育ての支援としての保育所の役割を踏まえた保育実践に努める

３．授業計画

1	子どもの年齢や発達に応じた保育や遊びの展開及び玩具についての教材研究
2	年齢に応じた教材研究及び制作
3	その場の状況に応じた子どもへの対応と保育についての理解（グループワーク）
4	特性のある子どもや保護者に対する対応についての理解
5	延長保育、休日保育、育児相談など子育て支援事業の理解

４．評価方法

・平常点（出席・授業態度など）30％
・グループワーク、課題の提出物　30％
・レポート　40％

５．テキスト及び参考書

・「保育所保育指針」厚生労働省
・「幼稚園教育要領」文部科学省
・「幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド」

６．実務経験の有無

■　あり　（　経歴　：認可保育所勤務29年・小規模保育所　施設管理者7年　　）

７．その他

科目名	実習指導②	担当者	寺西加代美	クラス	期別
				3NT	通年

1，教育目標

保育実習Ⅰ（保育）を通して学んだ技術と理論、その他の教科で学習した内容を基礎に、保育実習Ⅰ（施設）、保育実習Ⅱに向けた準備を行う。

保育士として必要な資質、能力、技術を向上させる。さらに、家庭と地域の生活実態に触れ、子育てを支援するために必要とされる能力、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養い、福祉の視点を持った保育士養成を目標とする。

2，授業内容

施設実習での養護についての専門的な理解と技術を学び、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解のもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。

児童理解を深め、施設保育士の役割踏まえた実践に努める。

　保育実習Ⅱでは、保育所実習を生かし、子どもの年齢や発達に応じた保育展開、特性に応じた保育の支援、さらに子育て支援としての保育所の役割を踏まえた保育実践に努める。

3，授業計画

1	児童福祉施設の社会的役割と施設保育士の役割
2	養護内容・方法の理解
3	実習日誌指導、ケース発表・シュミレーション準備
4	ケース発表・シュミレーション準備
5	ケース発表、実習前最終チェック（Ⅰ）
6	児童福祉施設における利用児・者と家庭支援の理解/保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等の実践と理解（部分実習、全日実習）
7	事例研究/指導計画作成
8	実習日誌指導
9	実習前最終チェック（Ⅱ）
10	実習振り返り（保育士としての自己課題の明確化）

4，評価方法

① 授業態度、授業の取り組み(30%)

② 実習日誌などの提出物(30%)

③ 実習施設の評価（40%）

5，テキスト及び参考書

「幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド」　林幸範・石橋裕子著（同文書院）

「保育所保育指針解説書」　厚生労働省

「幼稚園教育要領解説」　文部科学省

6，実務経験の有無

☑ あり　（児童養護施設）

科目名	保育 インターンシップ実習	担当者	山下　和子	クラス	期別
				３ＮＴ	通年

１．教育目標

「インターンシップ実習」は、「自分の未来を決める」就職活動のための自主的な実習である。教育実習、保育実習Ⅰ・Ⅱでの実践を通して学んだ技術と理論を基盤として、保育士、幼稚園教諭として必要な資質、能力、技術を習得し、自分の進路を決定する。

２．　授業内容

「インターンシップ実習」では、保育所その他児童養護施設、幼稚園、障がい者（児）施設など､保育士･幼稚園教諭の資格を生かせるすべての実習先を対象に､自分自身で選択し、１～３日間で実習を行う。（実習施設の数は問わず、トータル１０日間）現場での専門的な理解と技術を学び、専門職としての自覚を高める。

３．授業計画

1	オリエンテーション
2	参加実習 ・担当者の指導のもとに積極的に参加する。 ・幼稚園、保育所では、手遊び・絵本の読み聞かせ・部分実習の実践 ・保育所以外での児童養護施設、障がい者（児）施設では、利用者・児の生活援助、職員の仕事の把握、児童と職員の関係と援助技術の学習

※できれば実習終了後に履歴書を提出する。

４．評価方法

・インターンシップ実習報告書と出席状況をみて、全体評価を行う。

５．実務経験の有無

☑ あり　（ 資格　：　小学校教諭一種、保育士資格 ）
（ 実務　：　小学校教員 ）